

社会

62 (13) 10:20
90:50

① 卑弥呼についてまとめよう

1800年ほど前、日本は30ほどの小さな国に分かれていました。そのなかのひとつが、邪馬台国です。もともと日本には男性の王がいましたが、王座をめぐる戦争が10年以上も続いていました。

その戦争を終わらせたのが、邪馬台国の卑弥呼です。はじめは女性の王として卑弥呼が即位したところ、みんなが納得して平和な国になりました。

卑弥呼は宮殿の奥でいたと伝説。という占いに明け暮れる日々でした。占いの結果を伝えるのは弟の役目で、人々は卑弥呼の姿を見ることすらできませんでした。食事の世話などもすべてお世話係の女性たちがこなしました。

6年生

当時の人々は悪天候や病気など、自分の手に負えないことを恐れていた。だから、占いで未来を教えにくれる卑弥呼の力に頼っていたのである。

卑弥呼の死後は、台与という13才の少年が即位したとされていますが、その後の記録は乏しく、邪馬台国がどうなったかはよくわかりません。

② くだしと卑弥呼についてまとめよう

卑弥呼について、本を使ってよくまとめてあります。

ポイントを青線で引いて、すばらしいです!!

よくまとめてありますね。